

北に南に……新しい世界遺産が誕生



▲三内丸山遺跡（青森市）。約5000～4000年前にいとなまれた大規模な集落の跡で、それまでの縄文時代のイメージを大きく変えたとされる。

縄文時代の遺跡が世界文化遺産に！

Q

2021年7月、国連教育科学文化機関（ユネスコ）によって北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されました。この遺跡が世界遺産に認められたのはなぜですか。

A

自然と共生し、1万年以上の間、狩りや採集を中心に人々が定住生活を送った縄文文化が、世界の歴史でもめずらしい独自の文化として認められたのです。

世界では、農耕・牧畜の開始と共に人々の定住が始まり、文明が発達した地域が多くあります。しかし日本では、稲作が伝わるはるか前から大規模な集落をつかって定住していました。縄文時代の北海道や北東北では、ぶななどの森林や、暖流と寒流がまじわる海などの豊かな環境があり、人々は木の実、魚や貝などをとってくらしました。祭祀（神や祖先をまつこと）のための遺跡や、土偶、漆ぬりの土器などの出土品から、高い文化と技術があったことも見てとれます。

今回、定住生活の開始から発展、成熟にいたるようすをたどれるものとして、北海道・北東北の4道県にある17の遺跡がまとめて世界遺産になりました。持続可能な社会が求められる今、自然と共にあった縄文人の生活に、あらためて注目したいものです。（6ページ）



▲北海道・北東北の縄文遺跡群

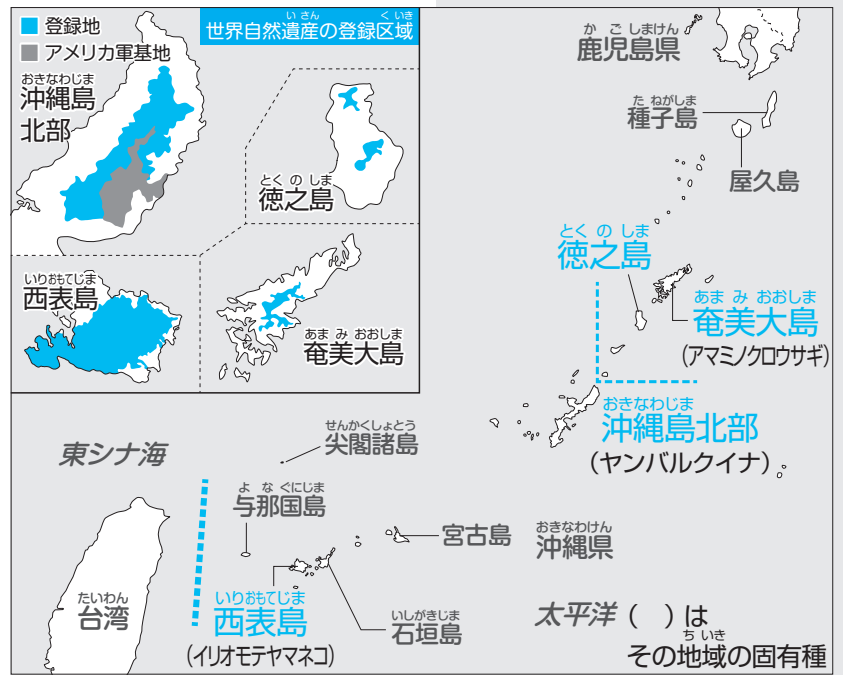
ニュースの視点 1 日本で5つ目の世界自然遺産

(1) 5つ目の自然遺産……2020年7月、「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」(鹿児島県・沖縄県)が世界自然遺産に登録されました。

(2) 独自の生態系……この地域は、九州から台湾の間に連なる南西諸島の一部です。大昔にユーラシア大陸から切り離されたため、生物が独自の進化をとげました。

沖縄島のヤンバルクイナなど、その地域にしかない固有種や絶滅のおそれがある生物(絶滅危惧種)がとても多いことから、国際的にも重要な地域と認められたのです。

マングローブ林などの貴重な自然を守るために、現地では入島する人の数を制限するなどの対策も検討されています。(p.6 ページ)



木造建築を支える人々
 寺・神社・神輿などの建築・補修復をする宮大工や、こてを使って建物の壁・床などを塗り上げる左官の技術が、無形遺産の対象となっている。

ニュースの視点 2 伝統建築工匠の技が無形文化遺産に

(1) 木造建築に欠かせない技……2020年12月、「伝統建築工匠の技」が無形遺産(無形文化遺産)になりました。ひのきの皮(檜皮)・茅などを用いた屋根ふきや、しっくいを用いた壁の製作、漆などの原材料を採集する技術など、木造建築物を受け継ぐための17の技術で構成されています。

(2) 無形遺産とは? ……文化の多様性などを証明する芸能や技術を保護するため、ユネスコが登録します。日本の無形遺産には能楽や歌舞伎、和紙、和食などがあります。

今回、世界文化遺産の保護と直接かわる技術が無形遺産に登録されたこととなります。これを機に、将来の技術の担い手を育成していくことが、より一層期待されています。



▲檜皮葺(ひのきの皮を薄くはいだものを重ねて葺く)の技法で屋根の葺き替えをする職人。

ここが
出る!?

ユネスコ 三内丸山遺跡 奄美大島 西表島 無形文化遺産

1 2021年7月、世界文化遺産として「・北東北の遺跡群」が新たに登録されました。・青森県・・岩手県にある時代の17の遺跡がふくまれます。

2 の世界遺産を代表する遺跡としては、青森市にある遺跡があげられます。また、人々が食べ物の残りかすや道具などを捨てた場所と考えられるも、数か所が登録されました。

3 時代の人々は採集や狩りを中心に定住生活をいとなみました。魔よけや安産などを祈るため、おもに女性をかたどってつくられた土の人形であるは、多くの遺跡から出土しています。

4 2021年7月、「、徳之島、沖縄島北部及び」が世界自然遺産に登録されました。これらは鹿児島県・沖縄県に属する島々です。鹿児島県には、このほかに世界自然遺産としてがあります。

5 「、徳之島、沖縄島北部及び」には、クイナをはじめとするその地域の固有種のほか、多くの絶滅危惧種が見られます。

6 世界遺産の登録は、によって行われます。は、教育・科学・文化を通じて、国どうしが協力して平和を守ることをめざしている、国際連合の機関です。

7 2020年12月、無形遺産（無形文化遺産）として「伝統建築の技」が新しく登録されました。木造建築物を受け継ぐための17の技術で構成されています。

8 すでに無形遺産に登録されているものには、出雲の阿国が始めて江戸時代に発展したなどの芸能や祭りなどがあります。また、和食や手漉きのなどの技術も、無形遺産となっています。

発展問題

次の文を読んで、後の問いに答えなさい。

2021年7月、日本に二つの①世界遺産が新たに誕生したというニュースは、コロナ禍の日本に明るい話題をもたらしました。その一つは、「北海道・北東北の縄文遺跡群」です。人々が自然と共生しながら生活した独自の文化が評価されたのです。全部で17ある遺跡を代表するのは、②青森市にある遺跡です。③もう一つの世界遺産は「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び④西表島」です。この地域特有のさまざまな生物が生息しています。ほとんど飛べない鳥であるヤンバルクイナや、精悍なイリオモテヤマネコのすがたは、みなさんもテレビなどで見たことがあるでしょう。

また、2020年には、「伝統建築工場の技」が無形文化遺産に登録されました。⑤世界文化遺産と直接かかわりのある技術が、世界的に価値あるものとして認められたこととなります。

問1 下線①について、世界遺産の登録を行う国際連合の機関の名を答えなさい。

問2 下線②について、右の写真が示すこの遺跡の名を答えなさい。

問3 下線③について、次の問いに答えなさい。

1 下線③は、鹿児島県と沖縄県の2県にまたがっています。これらの県の県境として正しいものを右下の地図のA～Eから選んで、記号で答えなさい。

2 下線③以外の世界自然遺産として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア 小笠原諸島（東京都） イ 富士山（静岡県・山梨県）
ウ 知床（北海道） エ 白神山地（青森県・秋田県）

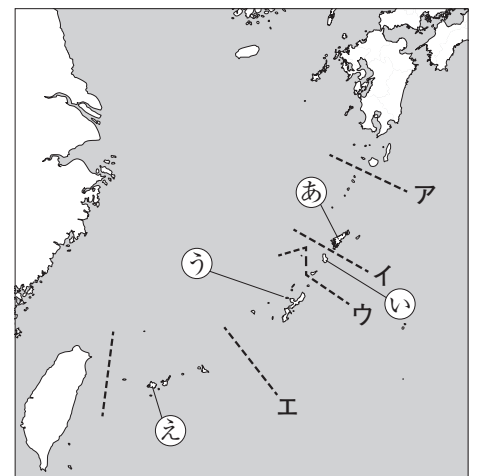
問4 下線④を右の地図の㉑～㉕から選んで、記号で答えなさい。

問5 下線⑤について、次の問いに答えなさい。

1 建物の壁を塗り仕上げるために多く使われてきたものを次から選んで、記号で答えなさい。

ア しっくい イ うるし
ウ いぐさ エ ひわだ

2 下線⑤について、世界文化遺産である合掌造り集落の屋根の葺き替えもこうした技術に支えられています。この世界文化遺産の登録地となっている都道府県の名を2つ答えなさい。



問1		問2		問3	1	2
問4	問5	1	2			